Magazine articles



SPECIAL

美人女高生を嬲り殺した「青い欲望」集団の狂気

40日間監禁し、火あぶり、リンチ、コンクリート詰め…前代未聞の凶悪少年犯罪はなぜ起こった!?

Juvenile delinquent group [illegible] murdering high school girl, hiding body in cement

5

not from a magazine but from a Japanese documentary. In picture 4 (bottom left), you can see Junko (she is the tall girl standing with short hair). In picture 5 (bottom middle), you can see Junko in the front row, she is the person in the middle wearing a white headband and leaning against another person.





出てきたら
あいつらは獣だ！
この手で殺してやりたい

殺された女高生の最愛の恋人(23)が

美人女子高生(17)コンクリート詰め

幸せな2人の日々が引きさかれ
いまその男性は酒びたりの
生き地獄の生活を……。



くったくない青春の日々。11月23日は川村さんの誕生日だった。

「これ、着てください」

順子さんはテレくさそうに手編みの黒いセーターを川村さんに贈った。ホカホカとあたたかいセーターだった。

順子ちゃんはもう

「順子ちゃんが制服のままいなくなったって、順子ちゃんのお母さんから電話があったのは27日でした。

ぼくはすぐ心当たりを全部さがしたんですが、誰も知らないと言うんです。

そのうちにまたお母さんから電話があって、順子ちゃんから〝すぐ帰る〟って電話が入ったけど、どうもようすがおかしいと言うんです。

ぼくも変だと思いました。

元気でいるなら、ぼくらを紹介してくれたいちばんの親友に、何か連絡してくるはずです。それもない。きっと何か起こったんだ。もう心配でジッとしていられなくなって休みの日はもちろん、毎晩仕

食事をして、ボウリングをして、自宅まで送り届けた。

「じゃ、またね」

笑って手を振った順子さん。それが最後の笑顔だった。

少年たちの無差別な餌食となって、行方不明になったのはその2日後(25日)である。

い出に満ちたクリスマスも過ぎ正月も過ぎた。

そして、突然、頭を殴りつけるように、耳に入った3月末の衝撃のニュース。

〝女高生コンクリート詰め殺人事件!〟

「フラフラになって友達のアパートへ行って、浴びるように酒を飲んだ……。あとは何もおぼえていません」

川村さんはタバコを口にくわえた。

「順子ちゃんが〝体に悪いから〟と言うので、吸わないようにしていたんですが、いまは前よりも増えてしまいました」

順子さんのお通夜がおこなわれた4月1日。同級生たち

つらい心の痛みに耐えながら、川村さんは記者の質問に答えてくれた。その実直な人柄に胸打たれる‥‥

その日、川村さんは順子さんの遺体が発見された埋立地にいた。たったひとりでドラム缶のあった現場に、菊の花とチーズケーキを供えていつまでも立ちつくしていた。

「いつか、順子ちゃんが作ってくれたチーズケーキが、とてもおいしかったんです」

涙があとからあとからあふれ出て、頬をつたわり、荒地に落ちた。順子さんが無残な姿で眠っていたその荒地に。

クリスマスに出会い、誕生日までの1年に満たない、短い愛の日々。将来は希望に満

article about her boyfriend




えー ウッソー～ ホント!

今週の話題総チェック! フォトスクランブル

この可愛い笑顔はもう戻らない!

美人女子高校生コンクリート詰め殺人


ああ無惨!

少年らが 1カ月監禁の末……

倉田まり子似の

美人女子高生

クリート詰

17



真的な少女だった



「事件がわかって〝綾瀬の18歳〟というだけでピーンときましたよ。それくらいAのワルぶりはこの辺じゃ有名。家では皿やコップを投げて、暴れていたし、外では下ッパを連れて歩き、『ウ〜ス』ってすごんだりしてチンピラみたいでしたよ」

証券会社に勤務しているといわれるAの父親は不在がちで、ピアノ教師の母親もホトホト手を焼いていたそうな。昭和62年、柔道の選手としてせっかく推薦入学した東海大高輪台高校を暴力事件を起こして中退。そのころには、家の近くにアパートを借り、中学時代の同級生と同棲生活……。

「Aが身長168センチぐらいなのに彼女は175センチぐらい。彼女は髪を茶色に染めていて水商売風という感じ。今年に入ってからもふたりで歩いてるのは見かけましたよ」（前出・近所の主婦）

B(17)の両親は別居中で母親がスナック経営、D(17)も両親は離婚していて、母親もパート勤め。5少年はすべてカギッ子ということになる。

Aは暴力団予備軍を気取って



「極青会」をつくり、非行は
なりエスカレート。Cの兄以
の4少年はすべて高校を退学
いう暴れぶりだった。

しかも、順子さんを監禁し
いるさなかの昨年12月下旬、
とBは元ホステス(19)を綾瀬
近くのラブホテルに連れ込み
暴し、1月23日、綾瀬署に婦
暴行容疑で逮捕され、事件発
のときは練馬の少年鑑別所に
られていたのである。

八ツ裂きにしても足りない

もちろん、順子さんの失踪以来、彼女の家族をはじめ、周囲

埼玉県立八潮南高校の野
十教頭もこう語る。

…きぬいたぶりも…

…司法解剖…さんの…太もも…い内出…、口な…いた。…関係者…させな…

ですよ」（社会部記者）

順子さんは当然ながら脱出を試みたが、

「逃げ出そうとして階段を降りたまではよかったんですが、途中で捕まっちゃって、さらにひどいリンチにあったといいます」（前出・社会部記者）

それ以後は、逃げ出す意欲もだんだんそがれていったのであろう。

捜査にあたった綾瀬署でも、

…Aをリ…ループ…され、…の家の…子さん…を受け…

「順子さんが逃げ出せなかったのには、外からではわからない脅迫があったから」というだけに、

…と脅さ…67人…いた…する…

「裸の写真を撮られていたり、『逃げたら殺す』といった内容のオドシが少なからずあったハズ」（社会部記者）

…スタ…ック…際、…いっ…子さ…った…

というのも、十分にうなずける。

17歳の女の子にとってみれば、それだけでも地獄であったろう。ところが、彼らの「凌辱」はそれだけにとどまらなかったようだ。

…の定…いた…、…やや…たん

「とにかくひどい。詳しくはいえませんが、なんでも、少年から証拠品として数個の〝大人のオモチャ〟を押収したようで

…級生も多数出席した

す。体毛もそられていたそうですし、言葉にできないようないたぶりが続けられていたんじゃないですかね」（社会部記者）

『40日』に驚愕の新事実！

コンクリート詰めのむごい姿で発見された古田順子さん(17)＝埼玉県立八潮南高校3年＝は、失踪当時51キロあった体重がわずか35キロになっていた。加害少年たちの監禁がいかにすさまじかったかの証左だが、そうした「凌辱の40日間」に、さらに驚く事実が判明した…。

…ラムカンにコンクリート詰めされて…

しかも、順子さんはトイレにも満足に行かせてもらえなかった状況だった。

「1階にCの両親がいる間は絶対に行かせてもらえず、洗面器などにさせられたという話もあるくらい」（社会部記者）

そんな彼女が布団の上に失禁してしまったのが、今年の1月4日の朝のこと。

「その場に居合わせた5人の少年はCの兄を見張り役に4人で殴ったり、蹴飛ばしたり…。順子さんがぐったりしたところで、5人は出かけ、夕方、部屋に戻ってきたところ、すでに息を引きとっていたといいます」（社会部記者）

5少年中、4人に逮捕歴

それにしても、なんともそら恐ろしいのは、この「凌辱の40日」がCの両親のいる家で…







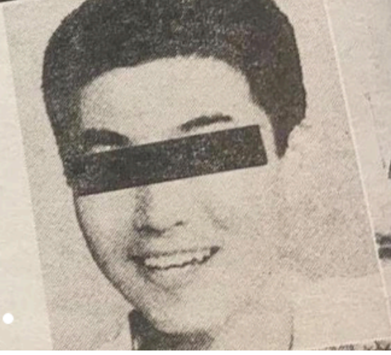
惨殺された古田順子さん



リンゴしか与えていなかった…

葬儀には同級生も多数出席した

コンクリート詰め殺人 監禁女高生『凌辱40日』



行われていたことである。

「ただし、Cの両親は息子の部屋にはこの2～3年入ったことがないといいますが、とにかく、あまりにも無関心すぎますよ」（社会部記者）

父親は昨年12月下旬に一度だけ注意したといって、警察の事情聴取にも――、

「2階から女性の声が聞こえたので声をかけ、妻もいっしょに食卓を囲んだ。そのとき、早く帰るように女の子にいった」

父親は中央区内の薬局に勤める薬剤師、母親はその…

退。暴…れたこ…ます」…それ…たのが…「Cの…間で、…ってい…でマジ…が…。…取り…4人は…高校時…りわけ…捕歴と…存在は…Aの…



女高生コンクリ詰め殺人事件の「核心」「狂気」の5人を生んだ「放任家庭」の大罪



…リ詰め殺人犯…

彼らに少年法が必要か

女子高生監禁・殺人の惨

↑神作譲の自宅

↑今回の犯行に使った車

少女の遺体を詰めたドラム缶の遺棄現場(上)　小誌の第一報記事

これが野獣の素顔(上)

男性への暴行が行なわれた現場

「四人で遺体を囲んで“コイツ死んでるのかな、死んでないのかな”って、タバコを鼻先に持ってった。煙が揺れないから、ほんとに死んでるとわかった」

女子高生コンクリート詰め殺人事件の被害者が亡くなった瞬間を、神作譲(33)は、笑いながら、語ったという。こうも言った。

「女を閉じ込めてるから来い、ってみんなを誘ったのはオレだ。やりたければ来い、って」

いまから十五年前る、昭和六十三年十一月二十五日の夜八時過ぎ、埼玉県三郷市に住む十七歳の女子高校生が、いつものようにアルバイト先の工場を出、自転車で帰宅の途についた。

「十分ほど走ったところで、一人の少年が現れていきなり自転車を蹴り倒し、少女に絡んだ。そこへ別の少年が通りかかって助ける。少女は恐ろしさのあまり、後から来た少年のバイクに乗ってしまった」(当時、小誌の取材に対する捜査関係者の説明)

連れこまれたのは、足立区綾瀬にある民家の二階。二人の少年がグルで、自分が待ち伏せされたことなど、少女は知る由もない。まして、この日から四十一日も生き地獄に晒され、ここを一度も出ないまま命を落とす運命が待ち受けているとは。

この民家は、また別の少年の自宅で、彼ら不良仲間の溜まり場だった。

少女は彼らの、筆舌に尽くしがたい性衝動と暴力に見舞われ続ける。連日連夜の輪姦は言うに及ばず、逃げようとして見つかるや殴る蹴るの繰り返し。一階にあるトイレへ下りるのに数十分もかかるほど衰弱した身体に、ライターのオイルをかけられた上で火をつけられるなど、暴力は凄惨を極めた。

「一人殺すも二人殺すも同じだ…

食事もろくに与えられず、…日にアンパン一個と缶ジュース一本という有り様。後に遺体で発見されたとき、五十数キロあった体重は三十キロ台に落ち、顔は暴行によって目鼻の区別もつかず、両親でさえ我が娘と判別できないほどだった。

少女は衰弱して立てなくなり、年が明けて一月四日、失禁をきっかけにまた激しい暴行を受ける。遊びに出た少年たちが夕方戻ると、彼女はすでに息を引き取っていたという。

遺体の処理に困った彼…は、ドラム缶とセメント…盗んできてコンクリート詰めにし、東京都江東区の埋立地に置き捨てたのだった…

彼女が死を迎えるまで拉致から実に四十一日。遺体発見までは、さらに二…月半を要した。

四月下旬までに、十六…から十八歳までの四人の…年が逮捕された。

少年刑務所に送られた…人のうち、懲役二十年の…

十五年前は何の罪もない少女を騙し、いままた男性を力で脅し、強引に連れ去って監禁、暴…を加える。“あの忌まわしい事…



女高生ら致し、殺害

一カ月監禁、リンチ

2少年再逮捕 コンクリ詰め、捨てる

「心配しないで」自宅に電話かけさせる

江東の空き地に

女子高生コンクリート詰め殺人

リンチ監禁の舞台は共産党員の家だった

犯人・少年の両親

スジ金入り党員

毎年、党に政治献金続ける

模範党員で「赤旗」表彰

問われる監督責任

About Minato’s repeat offense in 2018



少年法で守られるべき人権と凶悪犯の再犯率の高さ いまこそ、現実を直視するべき

「女子高生コンクリ殺人」の犯人 30年経って殺人未遂で逮捕

湊 伸治

About Miyano’s life after the murder





アニキと慕った先輩があの"少女リンチ殺人犯"でした







